



高円宮杯 ホッケー日本リーグ 【女子】 第2節 第 3 日

開催日時 4 月 25 日 (金) 会場 親里ホッケー場 天候 晴れ

【試合結果】

コカ・コーラウエスト レッドスパークス 勝点9 3勝	1	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	東海学院大学 勝点0 3敗
ソニーHC BRAVIA Ladies 勝点9 3勝	4	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$	0	立命館大学ホリーズ 勝点3 1勝2敗
グラクソ・スミスクライン Orange United 勝点6 2勝1敗	3	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	0	天理大学ベアーズ 勝点0 3敗
南都銀行 SHOOTING STARS 勝点6 2勝1敗	2	$\begin{pmatrix} 1-1 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	1	山梨学院 CROWNING GLORIES 勝点3 1勝2敗

コカコーラウエスト
レッドスパークス 1 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$ 0 東海学院大学

勝点 9 勝点 0
3勝 3敗

9 PC 0
13 シュート 0

得点	コカ→ 15分金藤
戦評	<p>コカのセンターパスにより試合が開始された。コカは序盤から東海陣内で試合を進める。そして、10分にコカはPCを獲得。しかし、東海GK#1清水の好セーブにより得点する事が出来ない。その後、コカは15分にFB#2朴の23m付近からのセンタリングをFW#19金藤がプッシュシュートでゴール左中段に決め先制する。コカは東海が快みする時折の攻撃も寄せ付けず、1-0でコカのリードで前半を折り返す。</p> <p>後半もコカの連続攻撃に対し、東海は自陣で精一杯の堅守。コカは16・18分と立て続けにPCを獲得。しかし得点することが出来ない。コカは結局、東海の粘り強い守備に手をやき、1-0の辛勝で開幕3連勝。</p>

テクニカルオフィサー	今庄充世		
ジャッジ	松宮 弘 西脇栄子	アンパイア	我妻順子 成田健一

ソニーHC
BRAVIA Ladies 4 $\begin{pmatrix} 2-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$ 0 立命館大学ホリーズ

勝点 9 勝点 3
3勝 1勝2敗

7 PC 0
18 シュート 0

得点	ソニー→ 27分義浦、30分坂井、48分友次、62分永井葉
戦評	<p>ソニーのセンターパスにより試合が開始された。ソニーは試合開始早々、立命陣内で猛攻を仕掛ける。対する立命も守備陣を整え、粘り強い守りをみせ、ソニーに決定的なチャンスを許さない。しかし、27分、ソニーはMF#18永井葉のセンタリングをFW#12義浦がタッチシュートでゴール左中段に決め先制する。勢いにのるソニーは31分にPSを獲得。FB#4坂井がゴール左上段に決め2-0とする。そのまま2-0でソニーのリードで前半を折り返す。</p> <p>後半もソニーは激しい攻撃を仕掛け、48分にFW#15小沢のシュートのリバンドにMF#11友次がリバースシュートをゴール左下に決め3-0と突き放す。対する立命も果敢に攻め込むがソニーのDF陣に阻まれ得点することが出来ない。その後ソニーは63分にPCを獲得。MF#18永井葉が巧みなボールコントロールからヒットシュートをゴール右下に決め4-0とし、そのまま試合終了。ソニーは開幕3連勝を挙げた。</p>

テクニカルオフィサー	長田和雄		
ジャッジ	中野典子 中辻静香	アンパイア	根岸郁美 藤村利道

グラクソ・スミスクライン Orange United	3	$\left(\begin{array}{c} 2-0 \\ 1-0 \end{array} \right)$	0	天理大学ベアーズ
	勝点 6 2勝1敗		勝点 0 3敗	
	7	PC	0	
	10	シュート	1	

得点	GSK→ 7分遠藤、22分片峯、48分伊藤
戦評	<p>天理のセンターパスにより試合が開始された。GSKは序盤から激しい攻撃仕掛ける。GSKは7分にFW#13伊藤のパスをFW#14遠藤が押し込み先制する。その後、天理はカウンターからGSK陣内に攻め込むが得点に繋げることが出来ない。22分にGSKはPCを獲得。FB#3伴田のパスをFW#8片峯がタッチでゴール右下に決め2-0と突き放す。勢いによるGSKは攻め続け、チャンスをつくるが、天理の粘り強い守備に得点することが出来ない。そのまま2-0でGSKのリードで前半を折り返す。</p> <p>後半開始早々、両チームとも激しい攻防を続ける。反撃する天理は、MF#26石和がボール奪いシュートを放つがゴール右外に外れる。その後、GSKは46分にPCを獲得。FB#4山中のシュートをFW#13伊藤が押し込み3-0とする。そのままGSKペースに試合を展開し、試合終了。3-0でGSKの勝利。勝点6と伸ばした。</p>

テクニカルオフィサー	今庄充世		
ジャッジ	松宮 弘 西脇栄子	アンパイア	壽山由樹 山口千恵美

南都銀行 SHOOTING STARS	2	$\left(\begin{array}{c} 1-1 \\ 1-0 \end{array} \right)$	1	山梨学院 CROWNING GLORIES
	勝点 6 2勝1敗		勝点 3 1勝2敗	
	1	PC	3	
	5	シュート	2	

得点	南都→21・44分平原 山梨→6分近藤
戦評	<p>山梨のセンターパスにより試合が開始された。両チームとも序盤からスピーディーな攻防を繰り広げる。山梨は6分にPCを獲得。FB#4近藤が強烈なヒットシュートをゴール左下に決め先制する。南都は21分にFW#10大塚のパスをFW#7平原がダイレクトでゴール左下に決め追いつく。勢いによる南都は、FW#10大塚を中心に攻め続けるが得点に結びつかず、1-1の同点のまま前半終了。</p> <p>後半は両チーム落ち着いたペースで試合を進める。少しずつ流れを手にした南都は44分にFB#5勝山のセンタリングをまたも、FW#7平原がタッチシュートでゴール左上段に決め、2-1の逆転。同点に追いつきたい山梨は、速いパス回しから攻撃を仕掛けるが、南都の堅い守備を崩せない。試合終了間際に獲得したPCのチャンスも山梨は活かせず、そのまま試合終了。南都は2-1で勝利。勝点6に伸ばした。</p>

テクニカルオフィサー	長田和雄		
ジャッジ	中野典子 中辻静香	アンパイア	小原直也 児玉茂樹